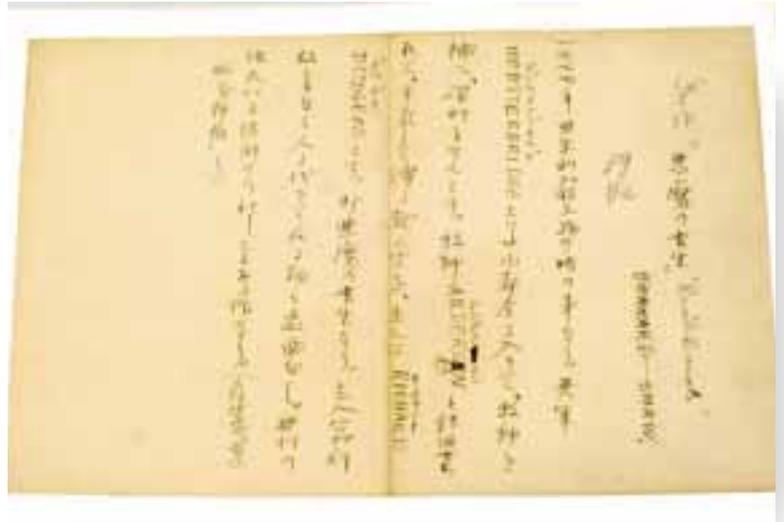




# 森 鷗外 自筆草稿 「輓近戯曲梗概」

(ばんきん)

(輓近 = 最近)



社会科学系単科大学所蔵としては異色ともいえる本草稿は、もともと鷗外と同門(東大医学部卒)であり医学史研究において著名である二宮陸雄氏の所蔵品であった。二宮氏は本学出身の詩人である岸誠(1929-1995)と個人的親交があり、その詩を高く評価していたが、岸が不慮の病で没した際、小樽での詩碑建立を思い立つ。詩碑「小樽わが町」は、1997年、めでたく船見坂上の小樽高野山日光院に建立され、その記念として氏より本草稿が本学図書館に寄贈された。

文豪森鷗外は、「梗概博士」と揶揄されたほど多くの戯曲梗概(あらすじ)を後世に残しているが、本学の所蔵するものは、1913年に出版された「近代劇精通」に収められた彼の梗概92篇中の4篇である。我が国の独文学受容において、

専門研究家ならぬ「独文学愛好家」鷗外がそのパイオニアであることは論を待たないが、名作の如何を問わぬ彼の乱読ぶりはつとに有名である。この4篇にも英作家バーナード・ショーの「悪魔の書生」(後に「悪魔の弟子」として邦訳)など、後に名を残す作品が含まれてはいるが、現代では完全に閑却された作品も見受けられる。坪内逍遙との「没理想論争」などにより、反自然主義的文学観を持つとされる鷗外だが、梗概にはハウプトマンを始めとして自然主義作品も多数含まれている。そこからは、自らの好悪に囚われず、ヨーロッパ文学をまずは貪欲に受け入れようとしていた鷗外の気概が感じ取れよう。



ダコタ・ホール(事務室や教室に使用)

## 海外協定校シリーズ②

# サウスダコタ大学(アメリカ合衆国)

アメリカ合衆国中西部に位置するサウスダコタ州・パーミリオン市にあるサウスダコタ大学は、1862年に設立された非常に歴史のある州立の総合大学です。サウスダコタ州は過去の大統領の顔が岩山に彫刻されていることで有名なマウント・ラッシュモア国立記念碑があり、大学があるパーミリオン市は自然がとても豊かで美しい人口1万人程の小さな町ですが、大学が形成している町だとも言えます。

サウスダコタ大学は州内で最も古い大学で、唯一ビジネス、法学、医学を学べる総合大学です。学生数は約8,700名、教員数は400名と学生数に占める教員の比率が高く、充実した指導を誇るばかりでなく、留学生を受入れる学生寮も整備されており、これまで派遣している学生からは、生活環境・勉学環境について高い評価を受けています。

商大とは平成13年に交換協定を締結し、これまで派遣学生13名、受入学生10名と学生相互交



マウント・ラッシュモアでの留学生達

流は順調に推移しています。昨年8月から同大学に約1年間留学し、5月に帰国した2名の学生からは、学生寮での生活や色々な国の留学生との交流、さらには、アメリカ国内研修など、多くの有意義な留學生活の様子が報告されています。

昨年7月には、サウスダコタ大学で国際交流を担当しているG.ハッカビー准教授が商大を表敬訪問され、秋山学長らと意見交換を行うなど、良好な関係が続いています。



G・ハッカビー准教授と秋山学長



オールド・メイン(大学内で最も美しい建物で、現在は事務室や教室に使用)



卒業式の風景